

専科だより

令和元年10月2日 第6号

平野小学校

校長 葛谷 裕治

音楽 堀江 真澄

図工 川田 真基子

算数少人数 鶴谷 浩二

家庭数



～9月の学習の様子をお伝えします～

【4年生】

「大きい数のしくみ」

1億より大きい数について学習しました。3年生までに学習したことをもとに、億の位・兆の位の数の読み方や書き方、くらの仕組みや3桁かける3桁の筆算の仕方を学習しました。

3桁の筆算では、かけた数の答えの位置がずれたことで、足していく数もずれてしまったり、3桁目のかけ算を忘れてしまったりして、正しく答えが出せない子がいました。筆算をするときも位の位置に気を付けて計算するように伝えました。

(例)

誤	$\begin{array}{r} 365 \\ \times 148 \\ \hline 2920 \\ 1460 \\ 365 \\ \hline 40880 \end{array}$
正	$\begin{array}{r} 365 \\ \times 148 \\ \hline 2920 \\ 1460 \\ 365 \\ \hline 54020 \end{array}$

【5年生】

「整数の性質を調べよう」

まず、偶数と奇数について、その意味と性質について学習しました。すでに知っている子供も多くスムーズに学習を進めることができました。しかし、倍数と約数の学習になると一変、かけ算の積になる数を倍数、ある整数を割り切ることのできる整数を約数というのを区別するのが難しいようで混乱している子が多かったです。さらに、最小公倍数と最大公約数が出てくると混乱が深まってしまっている様子の子もいるので、繰り返し区別ができるように問題に取り組む必要を感じています。

【6年生】

「角柱と円柱の体積」

四角柱や三角柱、円柱の体積の求め方が「底面積×高さ」であることを学習しました。どの子も求め方については理解ができていましたが、底面積を求めるときの公式を忘れてしまっている子がいたので、今一度、確認が必要だと考えています。

三角形の面積 = 底辺 × 高さ ÷ 2
台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2
ひし形の面積 = 対角線 × 対角線 ÷ 2
円の面積 = 半径 × 半径 × 3.14



～9月の学習の様子をお伝えします～

11月の音楽会に向けてどの学年も練習を頑張っています。4・5・6年生は合奏の楽器担当を決めるオーディションを行いました。木琴、鉄琴、アコーディオン、打楽器等、自分が希望する楽器を決め、授業中、休み時間、放課後も意欲的に練習しました。どの楽器も希望者が多く、「あの楽器を演奏したい」という気持ちを皆がもって練習に打ち込む姿がとても真剣でした。希望どおりにならずがっかりしている児童もたくさんいると思います。全ての楽器が合奏を完成させる大事な役割を担っているため、保護者の方にも励ましの声をかけていただけたらと思います。

今月は3年生の学習の様子をお伝えします。「元気 勇気 ちから」を歌っています。歌声を聴いていると4月の歌声から成長したことを感じます。元気いっぱい歌うだけでなく、高音が美しく響くようになってきました。一人一人の歌声がまとまり、クラス全体の歌声になってきました。リコーダーでは「ソラシドマーチ」を吹いています。音はソラシドの4つだけですが、複雑なリズムで指使いが難しいので、丁寧に練習しています。音楽会の本番では2つのパートに分かれて呼びかけあいます。6月から始めたばかりのリコーダーで曲を演奏することができ、リコーダーの楽しさを感じ始めているようです。

今月の歌

今月の歌は「いつだって!」です。音楽会のフィナーレで全校合唱します。
「ぼくらいつだって みんなともだちさ このちきゅうにうまれて そしてであえたから」
友達と明日へ未来へ進んでいく素晴らしさを歌います。



～9月の学習の様子をお伝えします～

今月は5年生の学習の様子をお知らせします。

5年「朝焼け夕焼け空の色」

図工の学習は、学年や児童の実態に応じて継続的に行われていきます。色の学習などはそういった事が分かりやすいかと思います。

5年のこの学習は2年の「マルマルフラワー」3年の「カラフルツリー」4年の「つないでつないで」といった学習を生かして取り組まれます。経験を重ねることで理解が深まり技能も上達していくものだと感じています。

前期のまとめの時期となりました。子供たちの努力もありますが、保護者のみなさんが子供たちを学習に臨める状態にして送り出してくださっているお陰で、今期も無事終わられそうです。ありがとうございました。平野小学校にも長くなりましたが、年々意欲的な子が増えており、うれしく思っています。全員図工が得意で好きというわけではないのに、一生懸命に作品に向き合っている姿に感心します。苦手なことにも取り組む中で、図工だけでなく何事にも挑戦する力、逃げない力、やり抜く力などのどんなことにも共通する「生きる力」を身に付けてほしいと思っています。

《あゆみについて》

あゆみは前期の図工の記録です。ぜひほめる材料にしてください。他の人との比較ではなく、個に対する評価です。振り返りの必要なところは改善し、内容を後期へのステップにしてください。

思ったより良くなかったと思う人は「もっとできる」「もっと力がある」と期待しているということです。自分ももっと力があると考えて、その力を発揮してください。

ご家庭で図工について話す、作品を褒めたい大事にしたい事でも、子供の「図工力」が育っていきます。ぜひそのきっかけにしてほしいと思います。後期もどうぞよろしくお願ひいたします。

